

小学校でも・中学校でも子どもはそれぞれ成長過程における悩みを抱き、それを乗り越えていくことで成長します。

学校生活や普段の生活で、お子様に対するお悩みはありませんか？

一人で悩まず、まずは相談してみてください。

子どもが学校に行けなくなってしまった…

学校で勉強や友人関係がうまくいっていないのでは…



Q 子どものことで困ったらどこに相談すればよいでしょうか。

A 安城市には、お子様や保護者の方をサポートしていくための様々な相談先を設置しています。

安城市の各中学校には、「スクールカウンセラー」があり、学校生活での悩みを一緒に考えていきます。また、各中学校区には「スクールソーシャルワーカー」があり、一人一人の悩みに応じた相談機関を紹介します。

教育センター内には、お子様のことについて相談できる「ふれあい相談室」もあります。保護者の方と共に考え、安心して学校生活を送れるようサポートをしていきます。相談先の詳細については、裏面をご覧ください。

相談先の紹介

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー

教育相談の申し込みは、担任、教頭にご相談ください。

<スクールカウンセラー>

心理に関する専門的な知識をもっています。悩みをもつ方のカウンセリングをしていきます。また、WISC（児童向けの知能検査）を行うことができます。

<スクールソーシャルワーカー>

福祉に関する専門的な知識をもっています。お子様が置かれた学校や家庭環境に視点をあてて支援していきます。より良いサポートが受けられるように悩みに応じた相談機関を紹介します。

安城市 ふれあい相談室

ふれあい相談事務室へお電話ください。担当者と相談し、臨床心理士・公認心理師、ふれあい学級を紹介するなど適切な支援について一緒に考えます。

<ふれあい相談事務室 電話番号>

0566-76-9674

<受付時間>

月曜日～金曜日 9:00～17:00
(祝祭日、年末年始は除く)

安城市適応指導教室 ふれあい学級

<活動内容>

- ・学習タイムは、各自で学習を進めます。
- ・フリータイムは、友達と卓球やオセロなどをして過ごします。

<保護者の声> 「安心して過ごせる居場所に」

不安を感じやすい子ですが、ふれあい学級は子どもにとって安心して過ごせる居場所になっています。優しく接してくれるお友達や先生方に感謝します。

安城市 若者支援ガイドブック

不登校やひきこもり等の悩みを抱える安城市の子どもたちが勇気を少しでももてるように。また、社会に出るお手伝いができればという想いをもった支援機関が紹介されています。QRコードからアクセスし、ご確認ください



「一人で抱え込まず、まずは相談してみましよう。」

明るく元気な

学校生活を 送るために

～中学校入学編～



部活動、授業、友だち、これからの新しい生活に胸を躍らせながら、子どもは夢と希望をもって成長していきます。

そのなかで、ちょっとした不安を抱いたら、一人で悩まず、まずは相談してみてください。

安城市教育委員会

👉 中学校生活「質問コーナー」

Q 中学校に入るとすべての教科で教科担任制にかわりますが、子どものよさをしっかり見てもらえるのでしょうか。

A **たくさんの教師がチームとなり、子どもたちの成長を見守ります。**

教師の専門性を生かした授業は、小学校よりも高度になる授業内容をわかりやすく伝えます。

また、中学生になると多感な時期を迎え、悩みも様々です。ベテランの先生から若手の先生まで、複数の先生がチームとなり子どもの成長を見守ります。



Q 中学校では、上級生との人間関係が難しいと聞きますが、本当でしょうか。

A 中学校では、先輩後輩を意識した関係にかわります。より明確な目的・目標に向かう中で、より深い人間関係を経験することができます。

上級生に対し、小学生のときのような「友達同士に近い関係」から、中学校では、「先輩後輩を意識した関係」にかわっていくことが多いです。部活動や委員会等で先輩から技術や秩序を学ぶ機会が多くなります。上級生が教える立場になる分、小学生のときほど、親しみを感じられないと思う生徒もいるようです。中学校では、部活動の結果や委員会の企画など、より明確な目的・目標に向かって共に努力する中で、時間と共により深い人間関係を経験することができます。その様子を教師がきちんと見守ります。

Q 中学校の学習に向けて、小学生のうち身に付けておくといことは何でしょうか。

A **自分で取り組みたい内容や時間を決めるなど、自主的な学習を意識して取り入れていくことをおすすめします。**

小学校では、漢字の書き取り練習や算数のプリントなど、先生が指定した学習課題を家庭で取り組むことが多くあります。中学校では、テスト範囲の中で、自分で要点をおさえながら学習を行っていくことになります。指示されたことだけをするのではなく、自分で取り組みたい内容や時間を決めるなど、自主的な学習を意識して取り入れていくことをおすすめします。

Q 部活動が地域移行されると聞きます。部活動はどれくらいの頻度で取り組んでいくようになりますか。

A **地域移行の取り組みとして、土日の部活動の活動日数を段階的に縮小していきます。実際の活動は、成長期にある生徒がバランスのとれた生活を送ることができるように基準を設けて取り組んでいます。**

部活動における活動時間及び休養日については、成長期にある生徒がバランスのとれた生活を送ることができるように基準を設けています。主なものとして、「平日は2時間程度、学校休業日は準備・片付けを含め4時間程度とし、学期中は、平日1日、週末1日以上以上の休養日」を設定することとしています。

地域移行に向けた取り組みとして、令和5年度10月から「週末は基本的に土曜日だけの月2回以内の活動」に縮小しています。

入学後、各校では見学や体験を行っていますので、お子様とよく相談して決めてください。また、部活動に入部しないことも認められています。



Q 子どもが、スマホがほしいというのですが、そろそろ持たせたほうがよいのでしょうか。

A **必ずしも必要というわけではありません。買われる場合は、家庭でしっかりとルールを決めてください。**

中学生になって、自分の携帯電話やスマートフォンを持つ子はいますが、必ずしも必要というわけではありません。

また、買われる場合も、家庭でしっかりとしたルールを決めていただくと良いと思います。安城市では「新安城ケータイ・スマホ宣言」がありますので、参考にしてください。

新 安城ケータイ・スマホ宣言

ケータイ・スマホの契約は、小中学生だけではできません。そのことをふまえ、保護者とよく相談の上、次のことを守って使うようにします。

わたしたちは、

① **SNSに個人の特定につながる情報を載せません。**

- ・自分や相手が嫌な思いをしないようにします。
- ・写真や動画を勝手に載せません。
- ・一度載せた情報は、一度と消すことはできません。

② **何かをしながら、ケータイ・スマホを使いません。**

- ・自転車乗車中や歩行中に使うことは、身の危険につながります。
- ・食事や会話中に使うことは、相手に対して失礼なことです。
- ・勉強中に勉強以外の目的で使うことは、集中しにくい環境をつくります。

③ **いじめやトラブルが起これない行動をします。**

- ・相手になつたつもりで、メッセージを送ります。
- ・むやみに、自分の中の常識や気持ちなどを他人に押し付けません。
- ・自分の家で決めたルールを友達にも伝え、わかってもらうようにします。

④ **SNSで知り合った人と会いません。**

- ・知らない人やあやしい人をSNSで追加や承認、連絡をしません。

⑤ **保護者や先生に相談・報告します。**

- ・お金に関することは、保護者の許可をとってから行います。
- ・困ったら、一人で抱え込まず、大人に相談します。

⑥ **家庭で話し合ってルールを作ります。**

- ・一日に使うよい時間数を設定します。
- ・決めた場所以外では使えません。
- ・夜間は、決めた場所に置いておきます。

令和元年 11月 15日

安城市中学生ふれあい会議にて採択



【新 安城ケータイ・スマホ宣言】